

特別支援教育における通常学級でのICTの活用について

甲賀市発達支援課 参事 西谷 淳

最近、学校にタブレットなどのICT機器が導入され始めています。ひらがな、漢字、計算をはじめ、社会や理科の分野でも多くの有効なアプリが提供され、特別支援学級や通級指導教室などでの活用がなされるようになってきています。

インクルーシブ教育システム構築にかかわって、障害のある子と障害のない子がともに学び、交流及び共同学習がさらに求められるようになっていきますが、実際には、特別支援学校の場所と地域の小中学校の場所が離れているために、日常的に交流することは難しい現状があります。

このようなときにも、スマートフォンやタブレットとプロジェクトをつなぎ、テレビ会議アプリなどを使うことによって、特別支援学校と地域の小中学校の子どもたちが、互いに朝の会や体験学習など様々な活動で、楽しく交流することができるようになってきました。

また、市内のタブレットを使って授業をされている通常学級の先生方からは、「支援の必要な子どもも含めて、全ての子どもたちの学習意欲や注意力が高まってきた。」支援の必要な子どもが、身を乗り出して学習に意欲的になっている。そのため、その子どもがつまずきや苦しさ、支援の必要なポイントなども、さらにはつきりと把握できるようになった。」との感想を聞かせていただいています。

今後の展開としては、通常学級にいる読み書きに困難さのある子どもたちが、個別の教育支援計画等に基づいて、普段から、子ども自身でタブレットなどの読みあげ機能やワープロ機能等を活用して、学習していくことができようになればと思っています。



特別支援教育 読むことに困難さのあるお子さまのご相談にお答えします!

「教育しが」7月号の「見ることで困っているお子さんがいます!」という記事をお読みいただいた保護者の方から、「わが子は、行を飛ばして読んでしまったり、文章の読解を苦手になっています。どうしたらよいでしょうか。」というご相談をいただきました。

この時に、担当者がご紹介しました「デイジー教科書」について、今回はQ&Aの形でご紹介させていただきます。

Q 「デイジー教科書」ってどんなものですか?

A 「デイジー教科書」とは、読むことに困難さのある子どもが、教科書を読みやすく、また、読むことに興味・関心を持つことができるよう、一般的な教科書を電子化したものです。

文章を読み上げてくれたり、読み上げながら文字の部分が順に色づけされていくなど、読んでいる場所が視覚的にも分かりやすくなっています。

Q 読むことに困難さのある子どもとは、どのような子どもですか?

A 弱視や上肢に障害のある子ども、また、読字障害と呼ばれる学習障害の子どもたちなどです。

Q どの教科でも作成されていますか?

A 小学校では国語・算数・理科・社会の4教科、中学校では国語・数学・社会・理科・英語の5教科で作成されています。(全ての教科書会社のものについ

て作成されているわけではありませんので、ご注意ください。)

Q どのようにして使うのですか?

A タブレット端末やパソコン等にインストールして使います。

Q 誰が制作しているのですか?

A (財)日本リハビリテーション協会を中心にボランティア団体が文科省からデータの提供を受けて制作しています。

Q 使用するのに費用は必要ですか?

A インターネットからダウンロードして使用する場合は無料です。CDによる郵送を希望される場合は、1教科につき2,000円が必要です。

Q 申し込みは誰ができますか?

A 本人、保護者はもとより、担任等の学校の先生方や、本人を支援してくれる方でも行うことができます。

Q 申し込みの手続きはしたらよいですか?

A インターネット上で申し込みができます。申し込み方法は、下記のホームページをご覧ください。提供可能な教科書の情報についても掲載されています。

<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>



問合せ先 学校支援課 ☎077-528-4643